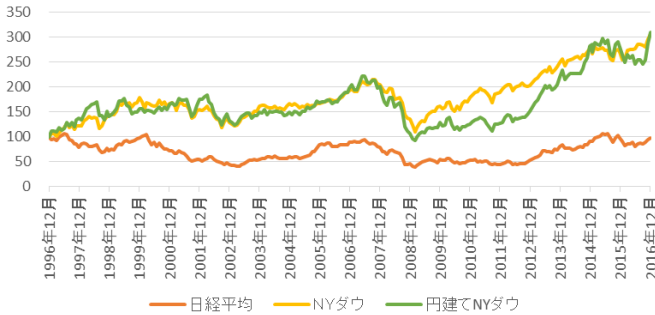


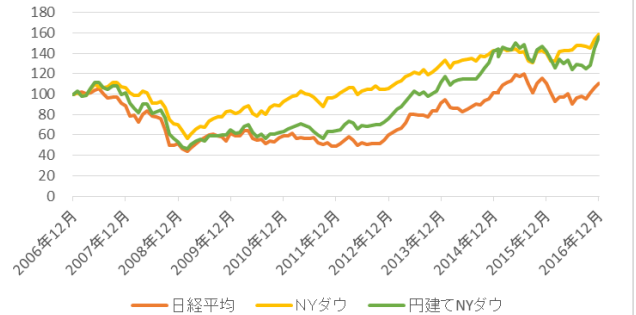
ATTENTION

米国株に国際分散投資しない手はない

日経平均・NYダウ・円建てNYダウ20年比較



日経平均・NYダウ・円建てNYダウ10年比較



	日経平均	NYダウ	円建てNYダウ		日経平均	NYダウ	円建てNYダウ
月次リスク	5.7%	4.3%	5.4%	月次リスク	5.9%	4.1%	5.6%

この2つのグラフと表は、10年、20年の期間の日経平均、ニューヨークダウ、円建てニューヨークダウの推移とそれぞれのリスク度を見たものです。これを見ると、10年、20年のいずれでもニューヨークダウ（最初を100として10年で159、20年で306）と円建てニューヨークダウ（10年で156、20年で309）の上昇率が、日経平均（10年で111、20年で99）を大幅に上回っています。そして、もう一つ注目すべき重要なポイントがあります。それはいずれの期間でも、株価下落リスクは、ニューヨークダウ、円建てニューヨークダウともに日経平均より少ないということです。日本から米国株に投資して、リスクは日本株より少なく、リターンははるかに大きいのです。これだけの長い期間で示されているのですから、これからも、米国株に投資して国際分散を図ることは「やらなくては損！」ということをはっきりと示しています。おそらくこれからも、このようなトレンドは続くでしょう。

INFORMATION

またも、バフェットがやってくれた・・・。

バフェットがあらためて、その眼力のすごさを見せ付けています。バフェットはリーマンショックの傷が癒されない2011年に、バンク・オブ・アメリカの優先株に50億ドルを投資し、2021年まで1に株7.14ドルで7億株買える権利を取得しました。いまでは株価は24.57ドル、7億株の時価評価額は171億ドルで評価益は121億ドル。優先株の配当金はこれまで15億ドルに達し、50億ドルの投資が6年ちょっとで136億ドルの利益をもたらしているのです。大方の市場参加者は当時「バンク・オブ・アメリカなんて大丈夫か」と見ていたものです。バフェットは、その当時「この銀行は素晴らしい、経営トップのモニハンはずごく信頼できる人物だ」と言っていたのがはっきり思い出されます。いつもバフェットが買うときは、まわりは「あんなの買って、大丈夫か」とみて、追従しないのが大方です。いまとなつては、あの時買っておけば・・・と後悔するばかりです。現在もエアライン株をどんどん仕込んでいて「あんなの買って、大丈夫か」という見方が多いのですが、果たしてどうでしょう。2011年から136億ドルを投じて8000万株仕込んだIBMは、買値を上回って上昇トレンドとなっています。長い間買値を下回って、周囲がこの投資は失敗だったと見ているとき、バフェットは「安く買えるのだから、むしろ喜ぶべきだ。今でも買っている。」と言って、全くぶれなかったのがあらためて思い出されます。

MARKET

	(2月末)	(1月末比)
日経平均	19,118.99円	+77.65円 (+0.4%)
NYダウ	20,812.24ドル	+948.15ドル (+4.8%)
米ドル	112.98円	+0.13円 (+0.1%)

今月の言葉：

- ・幸いなるかな、心の貧しき者、天国はその人のものなり。
- ・幸いなるかな、悲しむ者、その人は慰められん。

-マタイ書 5章3節

トランプ政権とメディアのどたばた劇に感じること

このところのトランプと米国メディアのどたばた振りを見ていると、これまで見られなかった劇中のシーンのような展開に驚きます。敵対するマスコミの論調が、どうしてもトランプ大統領に対して対抗的になるのはやむをえないでしょう。「偽ニュースだ」と罵倒されたり、質問させない差別的取り扱いを受けたり、懇談会に招かれなかったりすれば、記者も人間ですから、トランプに好意的な記事など書く気分にはならないでしょう。ワシントン・ポスト、ニューヨークタイムズ、CNNなど、メジャーなメディアがトランプの攻撃的となっています。ほら吹きトランプも、大統領になれば少しはおとなしくなり、公約もトーンダウンするだろうと大方が見ていたのですが、いやいやとんでもない。まさに公約どおりに大統領令の連発。気持ちがいいほどサインしまくっている感もあります。そういうなかで、反トランプの抗議デモは全米のみならず欧州まで広がっています。反移民ともなれば、イデオロギーの違いによるところなので、その対立は激しくなりがちです。

しかし、大統領選挙で大方の予想を覆しトランプが当選してしまったように、一面だけを見てトランプへの反発は大きいと見てしまうと危険です。支持率最低と声高に取り上げるマスコミは、トランプにひどい扱いを受けている身です。世論調査の質問でも、バイアスがかか

ります。また反トランプの一方で、共和党や白人労働者の間では「なかなかよくやっているじゃないか」とみている勢力も多いでしょう。気をつけておかなければいけないのは、トランプ支持の人はあまり表立って声を出さないということ、マスコミもこれまでのいきさつから、トランプ支持の声を取り上げたくないというバイアスがかかるということです。

ニューヨークダウは、トランプ大統領当選から14%あがり、今年に入ってトランプラリーの第2波が来ているといわれ、2月27日まで12日連騰です。トランプ政権のどたばた振りをみていると「アメリカ、大丈夫か」と心配になりますが、株式市場はどんどん上がっています。

いわば、経済と政治は別物。投資行動に政治を混ぜてしまうのは、大きな誤りだとバフェットもいっています。あるいは企業は、政治に振り回されず、思いのほかしたたかだという見方をとるべきなのかもしれません。また米国経済は、その仕組みが大変柔構造で、振れすぎた振り子は戻り、自動安定化機能が働きやすい構造になっているといってもよいでしょう。

こういう時期はメディアの論調や群集心理に振れがちですが、底流に流れる米国の経済システムは健全と見ておいていいでしょう。

びとうファイナンシャルサービス代表、尾藤峰男が教える 『こうすればお金の運用で必ず成功する！セミナー』

大切なお金の運用で、本当のことを知るのには大変むずかしいです。預金金利はゼロ、国の年金だけでは足りず、金融機関も利益追求に走っていて、自分自身でしっかりお金を運用する必要がますます高まっています。

このセミナーで、他では絶対に聞けない「お金の運用で必ず成功する方法」を学びましょう。30年以上の投資経験と資産運用で頂点のグローバル資格を持ち、金融機関とのしがらみが全くない資産運用アドバイザー、尾藤峰男だから語れる「お金の運用で必ず成功する方法」を伝授します！ぜひお越しください！



びとうファイナンシャルサービス株式会社
代表 尾藤 峰男

日時： 2017年3月25日(土) 15:00～17:00
場所： 東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル2F リファレンス会議室
JR有楽町駅 中央西口／日比谷口より1分
東京メトロ有楽町線有楽町駅 D2出口連絡
東京メトロ日比谷線・千代田線日比谷駅 A6出口より3分
都営三田線日比谷駅 B1またはB2出口より3分
<http://tokyo.re-rental.com/yurakucho/access/>
参加費：1,000円(当日支払い)

メールまたは電話にて「3月25日セミナー参加希望」として、ご氏名、ご年齢、ご連絡先をお知らせください。
Eメール： info@bfsc.jp Tel： 03-6721-8386

- どうしたら株式投資で最も成功するか
- 本当に正しいお金の運用法とは
- もっとも効率的にお金を増やす方法とは
- 国際分散投資はどうやったらいいか
- よい金融商品の選び方
- 証券会社や銀行にだまされないために
- お金に困らない老後の安心を確保するために
- NISAやiDeCo(個人型確定拠出年金)の活用法
- 安心してお金の相談をできる場所はどこか

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス株式会社
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386
携帯：070-5567-3311

FAX: 050-3156-1072
電子メール： info@bfsc.jp